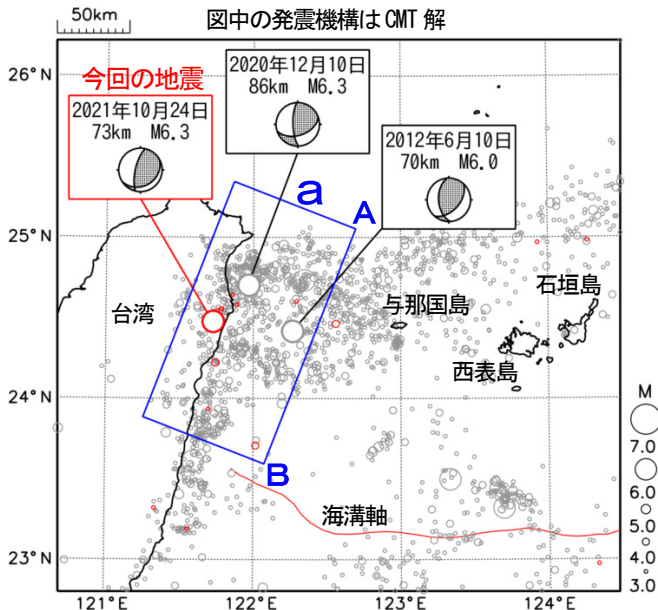


10月24日 台湾付近の地震

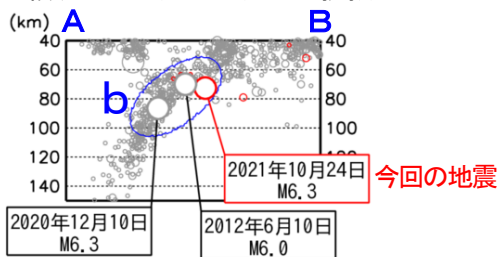
震央分布図

(2009年9月1日～2021年10月31日、
深さ40～150km、 $M \geq 3.0$)
2021年10月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

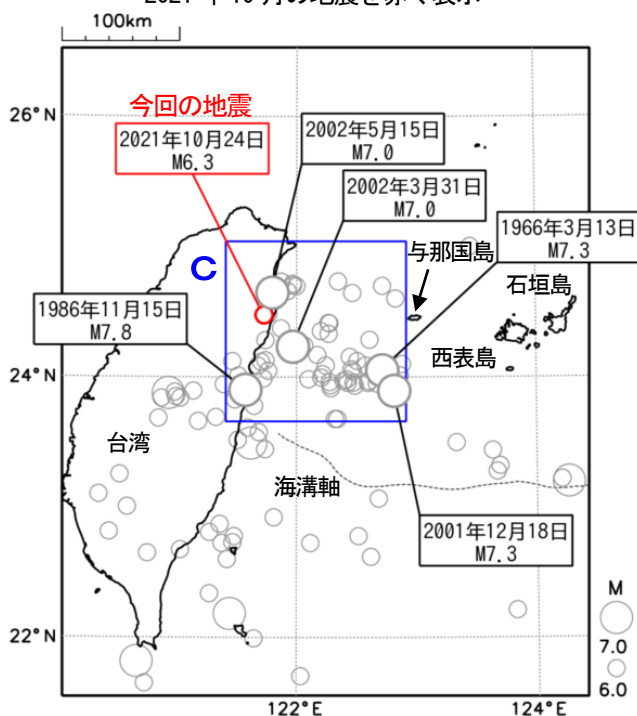


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1960年1月1日～2021年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2021年10月の地震を赤く表示

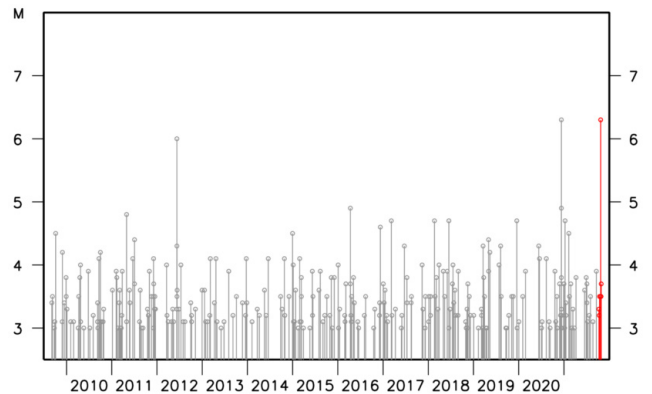


1986年11月15日の地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。その他の震源要素は気象庁による。

2021年10月24日14時11分に台湾付近の深さ73kmでM6.3の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

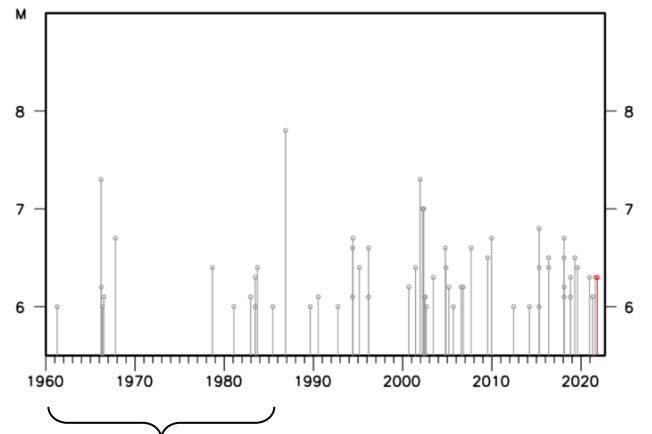
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近 (領域b) では、2012年6月10日にM6.0の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生した。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測した。また、1966年3月13日のM7.3の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生した (被害は、「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)